

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

28

森や木を知って、地域の森林を考えよう

～ セーザイゲームを通じて楽しみながら学ぼう ～

家城公民館講座 小学生とその保護者



実施時期	令和7年8月
実施場所	津市家城公民館
時間	2時間30分
対象・人数	小学生 8人 その保護者 6人
講師	県林業普及指導員 4人
備考	家城公民館講座

めざす姿

06 知識・技能を身に付ける

(01 遊び・楽しむ、02 親しむ、03 興味・関心を持つ、08 地域の課題に目を向ける)

ねらい

セーザイゲームを通して、楽しみながら、木が木材として流通・販売される仕組みを理解し、地域における「緑の循環」について考えてもらう

内容

- ・製材所経営の疑似体験をすることができるセーザイゲームを実施
【森林・林業・製材についての説明】
【ゲームのルールについての説明】
【製材会社の社長として「セリ」、「キドリ」をして製品を売り、利益を出して、競い合う】
- ・木材生産の現状と「緑の循環」について知る、考える

学習指導要領との関連

森林資源と木材生産（小学5年生社会科）
面白さ・不思議さ・遊び（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、森林資源のはたらき・森林と人々の暮らし・森林を保全する仕事（林業）・木材需要と木材輸入・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）

準備物

セーザイゲーム、パソコン

子どもの反応

- ・セーザイゲームをもっとたくさんやりたい。
- ・もう一度セーザイゲームをしたい。
- ・木はもっと高いものだと思っていた。木の価値を上げるために、たくさん木を使うようにしたい。

公民館のコメント

- ・大人も子どももみんな楽しんでゲームに夢中になっていた。開催できてよかった。

次ページに詳しい取組の内容を掲載

取組の内容

はじめ

林業・製材業についての説明

知る



林業は森を整備し、丸太を生産する仕事

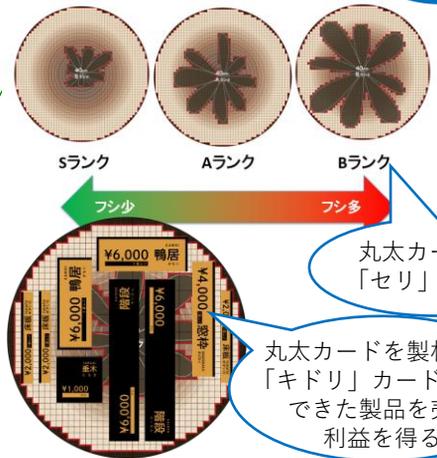
製材業は丸太を木材として使うために整える仕事

丸太の写真で木の価値を見極め「セリ」で丸太を購入する

セーザイゲームのルールについて説明

丸太カード
グレードは3種類

知る



丸太カードを「セリ」で購入

丸太カードを製材し、「キドリ」カードを置くできた製品を売り利益を得る

購入できたら丸太カードをもらい製材する「キドリ」カードを置く

体験する



こう置くのが一番高いと思う!

ここに「キドリ」カード置けるかも!

体験する



1万1千円!

1万2千円!

もっと価値が高そうなのが1万5千円!

置いた「キドリ」カードの金額を計算し売伝票を持って製品市場でお金に換える

体験する



置き方と計算の間違いないか確認します!

丸太を買ったときより高くできたはず!!

「セリ」と「キドリ」を繰り返し最も利益を上げたチームの勝利

体験する



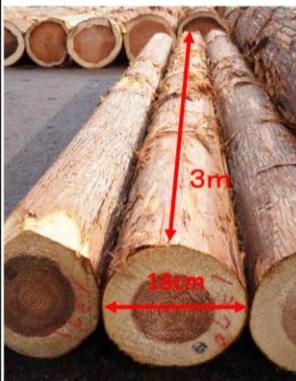
やった!!

いっぱい製材できてよかった!

考える

木が実際にいくらで売られているのを知る

【クイズ】実際には、木はいくら位で取引されている?



1本で2万円くらいかな?

実際は1m³で1万5千円
木1本にすると1500円

ふりかえりとして「緑の循環」について知る・考える

考える



地域の森林を元気にするために何ができるかな?

木をたくさん使うとかな!

ふりかえり